



やってみよう!

自分で数字を選択して競う...

教す 択たく

岩谷先生と山口先生が考案!

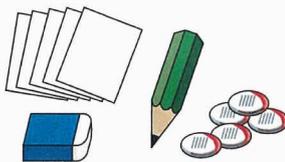
【準備するもの】

何も書いてないカード10枚(1人5枚×2セット、名刺用の台紙が便利だよ)、鉛筆、消しゴム、石(おはじきなど)5個

① まず準備

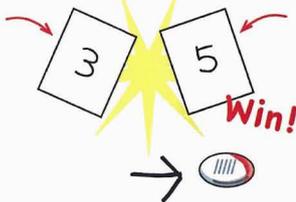
★1対1で対戦するよ

★1~5の数字をカードに1枚ずつ書いてね



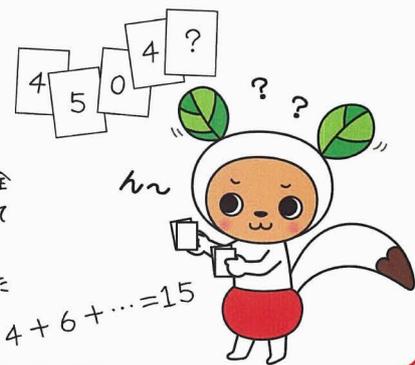
② さあ勝負!

- ★5枚のカードを1枚ずつ同時に出して対戦しよう
- ★大きい数字を出した人が石を1つもらえるよ。同じ数字はアイコ。次の時に大きい数字を出した人へ
- ★先に3つの石を集めるか、石が多い方が勝ち



③ 次はルールをバージョンアップ!

- ★数の合計が「15」になるように5枚のカードに数字を書いてね(1~5の数字を全部消して使おう)。「0」や同じ数字を書いてもいいよ。マイナスの数字は使わないでね
- ★あとのルールはいっしょ。石を3つ集めた人が勝ちだよ



こども記者のみなさんへ

こども記者さんへ。みなさんの取材する力、質問はとても素晴らしい。ちゃんと見ていて、何を知りたいか分かっている。これは、全体をはあくしているということです。表現することはこれから大事になります。観察を重ねて、勉強と遊びをバランスよくやって大人になってください。手応えもあって、楽しいこどもスクールでした。



講師・パツマンの開発者 ■岩谷徹先生

実は小学生に教えるのは初体験。無我夢中でした。小学生のキラキラしている自がまぶしかったです。とても新鮮で、私にもいい刺激になりました。



東京工芸大学ゲーム学科助教 ■山口義英先生

みんなはんだ付けは初めてのなにくらべて、びっくりに! 何事も経験が大事。将来の夢をかなえるにも自分から進んで何事もつこんでいくのが大切だと思います。もしあなたがシャイだったら、きょうを機に、自分のからをつきやぶってほしいと思います。



松本工業高校 ■塚田健斗さん

記者さんたちから積極的に質問が出てきて、自分とはちがってすごいなと思いました。みんなをみならって自分も頑張ります。7月16、17日は松本工業高校の文化祭「松工業」来てね!



松本工業高校 ■玉井健太郎さん

子どもたちがこのことに反応するの、楽しんでくれるのかといったことが分かって、興味深く参加できました。家族とゲームをやっていると、うがが多くてうれしかったです。東京工芸大学の卒業生 ■野澤邦仁さん



いろいろな子どもたちや幅広い世代の人に、自分の作ったゲームを見てもらえて、新鮮だったし、自分でも楽しかったです。勉強になりました。松本工業高校・東京工芸大学の卒業生 ■幅祐太さん



松本工業高校・東京工芸大学の卒業生 ■幅祐太さん



参加したこども記者、岩谷先生と一緒に記念撮影

こども記者クラブからのお知らせ

今回の取材教室は...

8月1日(月) 13:00~16:30

「たんけん 信濃の国 岡谷編 ~信濃のシルクは世界の宝~」

を岡谷市で開きます。製糸工場などを見学して、100年くらい前に世界のトップクラスだった生糸(シルク)生産の歴史を取材します。

申し込みもここだよ!

お問い合わせ: 信毎こども記者クラブ(地域活動部) 026・236・3110

みんな最初は1年生

23本目 [記者19年目] 投稿のページを担当、読者の窓口、田中司記者

はつきり! あやふやなこと

19年前に新聞記者になりました。最初の1年は「自分ってだめだなあ」と思うことの連続でした。中でも一番よくなかったのは「知ったかぶり」をしてしまっことでした。最初の勤務地は飯田支社で、先輩たちは毎日ちゃんと原稿を書いて、難しそうな取材も当たり前のようにやっています。

「前にもそこで同じような事故があったけど、記者さんなら知ってると思うが:」などと聞かれると、「はいはい」などと受けてしまっ。実はあとで調べてもらわない。結局、先輩におかれず、はつきり思いをして取材することになりました。

あやふやなことは、できる限りその場ではつきりさせるという、苦手を克服することが最初の大事な仕事でした。

早く先輩のようにになりたい、という思いからでしょう。「何も知らない新米記者」と思われるのが嫌で、つい大事なことを分らないままにして取材を終えてしまっのです。

「前にもそこで同じような事故があったけど、記者さんなら知ってると思うが:」などと聞かれると、「はいはい」などと受けてしまっ。実はあとで調べてもらわない。結局、先輩におかれず、はつきり思いをして取材することになりました。

